

大垣市地域医療・介護のあり方検討委員会 第1回資料

令和8年5月26日

1. 大垣市地域医療・介護のあり方検討委員会の設置趣旨 (P.3)
2. 近年の医療政策 (P.5)
3. 西濃医療圏の患者・利用者動向 (P.8)
4. 西濃医療圏の医療機関の状況 (P.17)
5. 大垣市民病院の状況 (P.27)
6. 議題 (P.32)
7. 参考資料 (P.34)

大垣市地域医療・介護の あり方検討委員会の 設置趣旨

(背景)

人口減少・少子高齢化の進展により、地域医療・介護を取り巻く環境は大きく変化している。国は「治す医療」と「治し支える医療」の役割分担を明確化し、地域完結型の体制構築を推進している。こうした状態を踏まえ、大垣市においても持続可能な提供体制の構築に向け、新たな検討委員会を設置することとした。

(目的)

大垣市を中心とした西濃地域における医療需要や医療機関の機能等の調査・分析及び課題を抽出し、大垣市民病院の果たす役割、将来的なあり方の検討を軸として、同地域の医療機関・介護事業者間の連携強化、情報共有、課題整理及び改善策について検討委員会で話し合い、意見書を大垣市に提出する。

近年の医療政策

地域医療構想 関係資料（新たな地域医療構想）

01 | 新たな地域医療構想の進め方等について

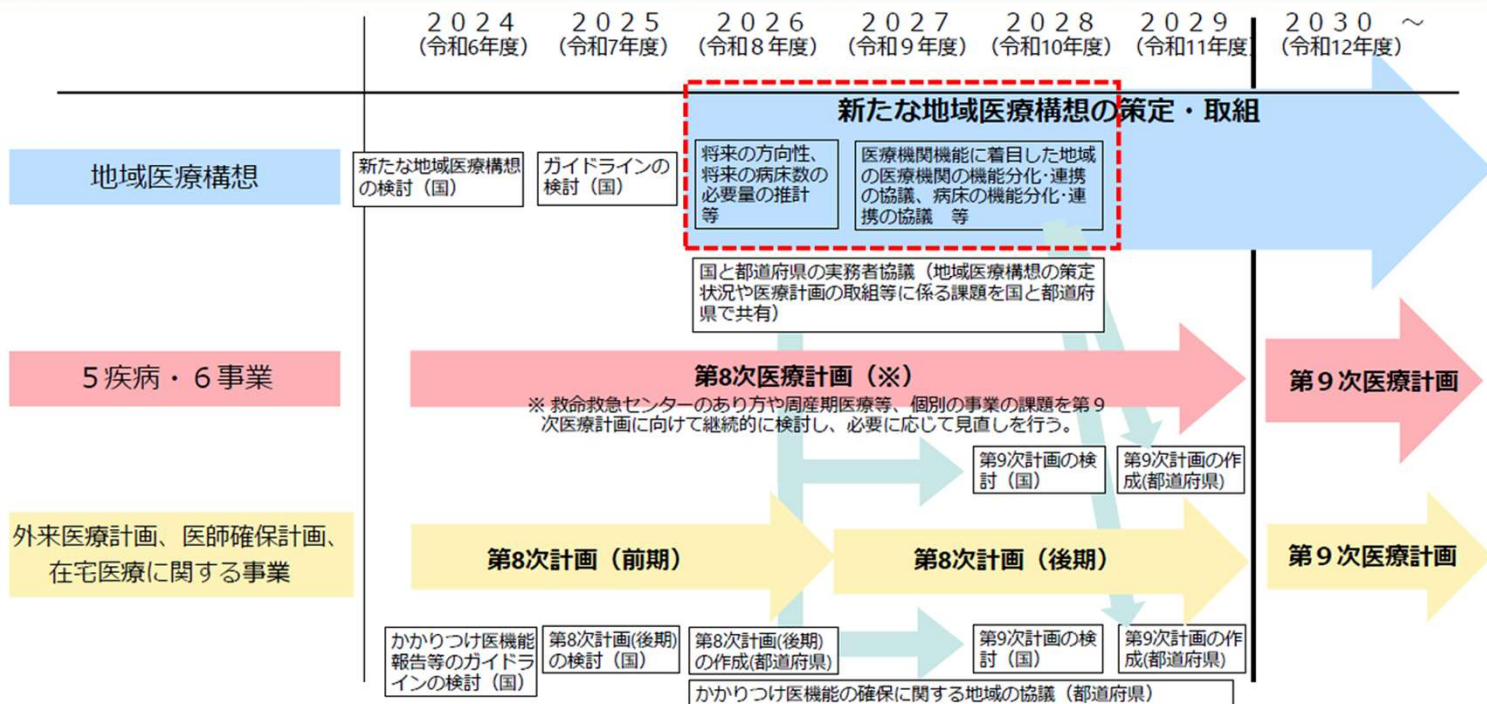
令和8年1月16日第9回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会資料

新たな地域医療構想と医療計画の進め方

- 新たな地域医療構想について、令和7年度に国でガイドラインを検討・策定し、都道府県において、まず令和8年度に地域の医療提供体制全体の方向性、将来の病床数の必要量の推計等を検討・策定した上で、それを踏まえ、令和9～10年度に医療機関機能に着目した地域の医療機関の機能分化・連携の協議等を行うこととしてはどうか。
- 新たな地域医療構想の内容について、基本的に第9次医療計画に適切に反映されるよう、地域医療構想の策定状況や医療計画の取組等に係る課題を国と県で共有することとしてはどうか。医療計画のうち、5疾病・6事業については、個別の事業の課題を第9次医療計画に向けて継続的に検討し、必要に応じて見直しを行い、また、外来医療計画等の3か年の計画については、令和9年度からの後期計画に向けて必要な検討を行うこととしてはどうか。

令和8年度から新たな地域医療構想の策定・取組がスタートしている。

前回の地域医療構想では、医療機能毎の病床数について論じられていたが、新たな地域医療構想では、医療機関機能について着目した協議を行うこととしている。



地域医療構想 関係資料（医療機関機能）

令和8年1月16日第9回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会資料

医療機関機能の協議にあたっての検討事項とデータ（案）

○ 医療機関機能について各都道府県が構想区域毎に機能を確保することができるよう、以下の考え方を基本とし、区域の人口規模に応じた役割について検討してはどうか。

	求められる具体的な機能や体制	協議のためのデータ
急性期拠点機能	(急性期の総合的な診療機能) <ul style="list-style-type: none"> 救急医療の提供 手術等の医療資源を多く要する診療の、幅広い総合的な提供 (急性期の提供等にあたっての体制について) <ul style="list-style-type: none"> 総合的な診療体制を維持するために必要な医師数、病床稼働率 急性期医療の提供や医師等の人材育成を行うための施設 	○以下のデータについて、医療機関毎のほか区域内全体における数・シェアも踏まえて検討する。 <ul style="list-style-type: none"> 救急車受け入れ件数 各診療領域の全身麻酔手術件数 医療機関の医師数 急性期を担う病床数・稼働率 医療機関の築年数、設備（例：手術室、ICU） その他従事者の状況（歯科医師数、薬剤師数、看護師数等）
高齢者救急・地域急性期機能	(高齢者救急・地域急性期に関する診療機能) <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に多い疾患の受入 入院早期からのリハビリテーションの提供 時間外緊急手術等を要さないような救急への対応 高齢者施設等との平時からの協力体制 	<ul style="list-style-type: none"> 救急車受け入れ台数（人口の多い地域のみ） 医療機関の医師等の医療従事者数 包括期の病床数 地域包括ケア病棟入院料や地域包括医療病棟の届出状況 医療機関の築年数 高齢者施設等との連携状況
在宅医療等連携機能	(在宅医療・訪問看護の提供) <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療の提供の少ない地域において、在宅医療の提供 訪問看護STを有する等による訪問看護の提供 (地域との連携機能) <ul style="list-style-type: none"> 地域の訪問看護ステーション等の支援 高齢者施設の入所者や地域の診療所等で在宅医療を受けている患者等の緊急時の患者の受け入れ体制の確保等、平時からの協力体制 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養支援診療所・病院の届出状況 地域における訪問診療や訪問看護の提供状況 医療機関の築年数 高齢者施設等との連携状況
専門等機能	<ul style="list-style-type: none"> 特定の診療科に特化した手術等を提供 有床診療所の担う地域に根ざした診療機能 集中的な回復期リハビリテーション 高齢者等の中長期にわたる入院医療 	<ul style="list-style-type: none"> 回復期リハビリテーション病棟入院料・療養病棟入院基本料等の届出状況 有床診療所の病床数・診療科

主に4つの医療機関機能が示されており、急性期拠点機能については、人口20～30万人に1拠点を確保することが示されている。岐阜県の地域医療構想調整会議では、西濃圏域の急性期拠点機能は、1拠点を想定した議論が始まっている。

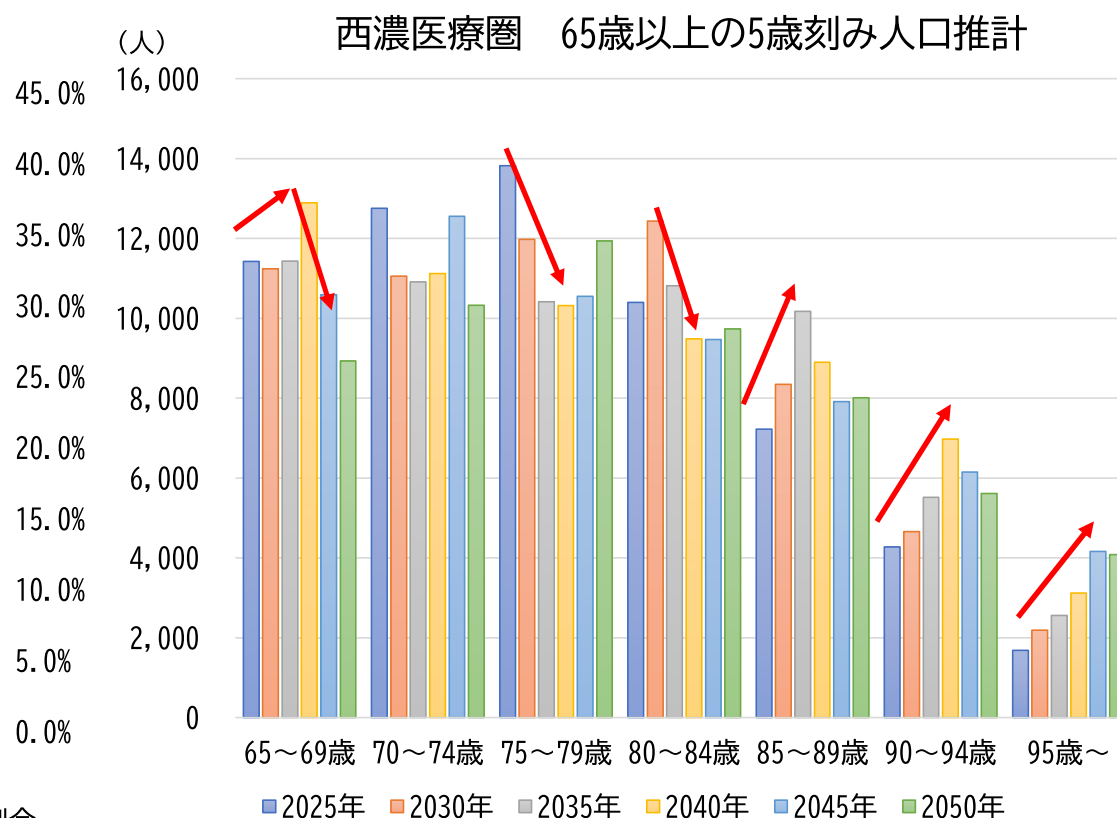
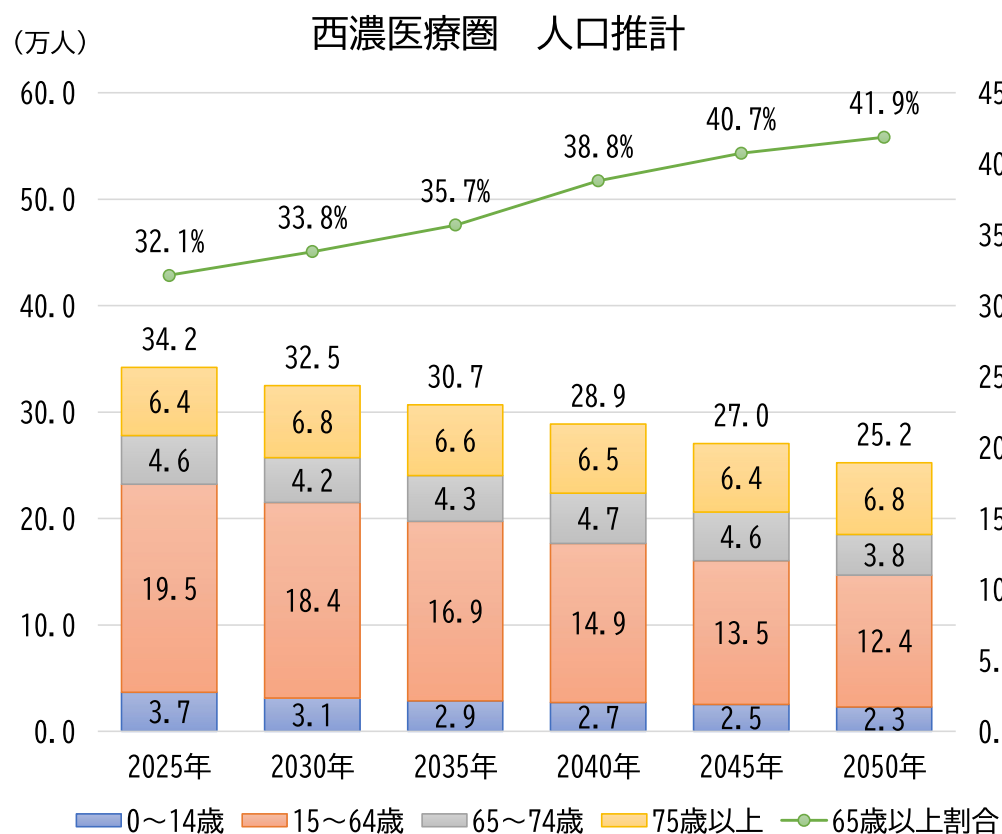


	人口推計			医療機関数（想定）
	2025年	2040年		
岐阜圏域	776,818	701,293	→	4
西濃圏域	341,928	288,588	→	1
中濃圏域	350,830	305,051	→	2
東濃圏域	304,718	252,972	→	1
飛騨圏域	127,013	97,863	→	1

西濃医療圏の患者・利用者動向

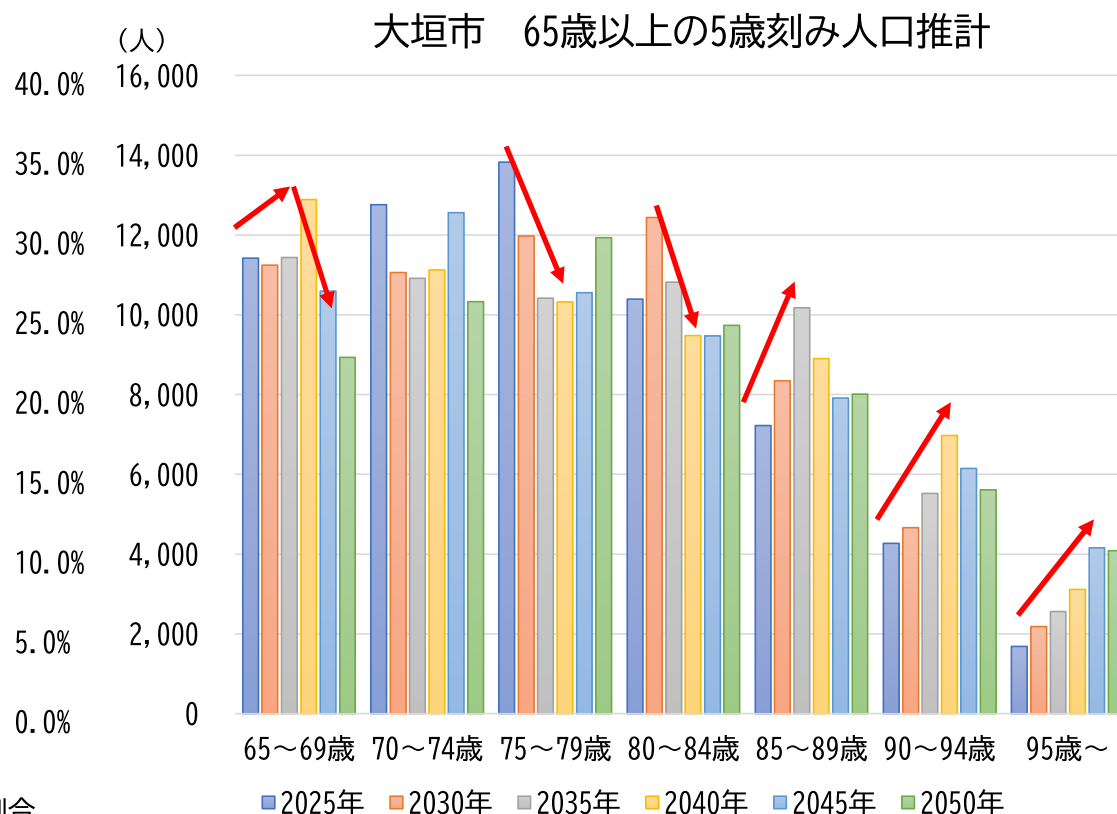
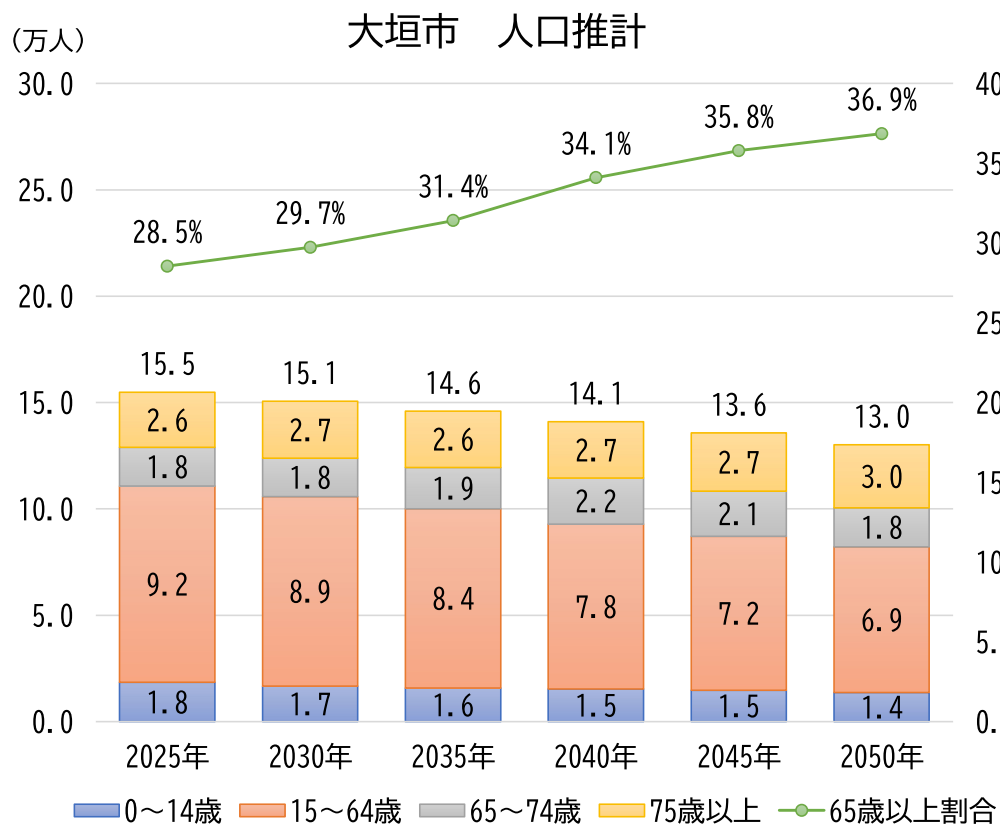
西濃医療圏の人口推計

西濃医療圏は、2025年の推計値で、34.2万人の人口が、2040年には28.9万人、2050年には25.2万人と、急激な人口減少が推計されている。患者数が増加する65歳以上に限定すれば、75歳～79歳、80歳～84歳の区分では、2030年以降大きく減少すると見込まれる。85歳以上の各区分の人口が増加すると見込まれている。



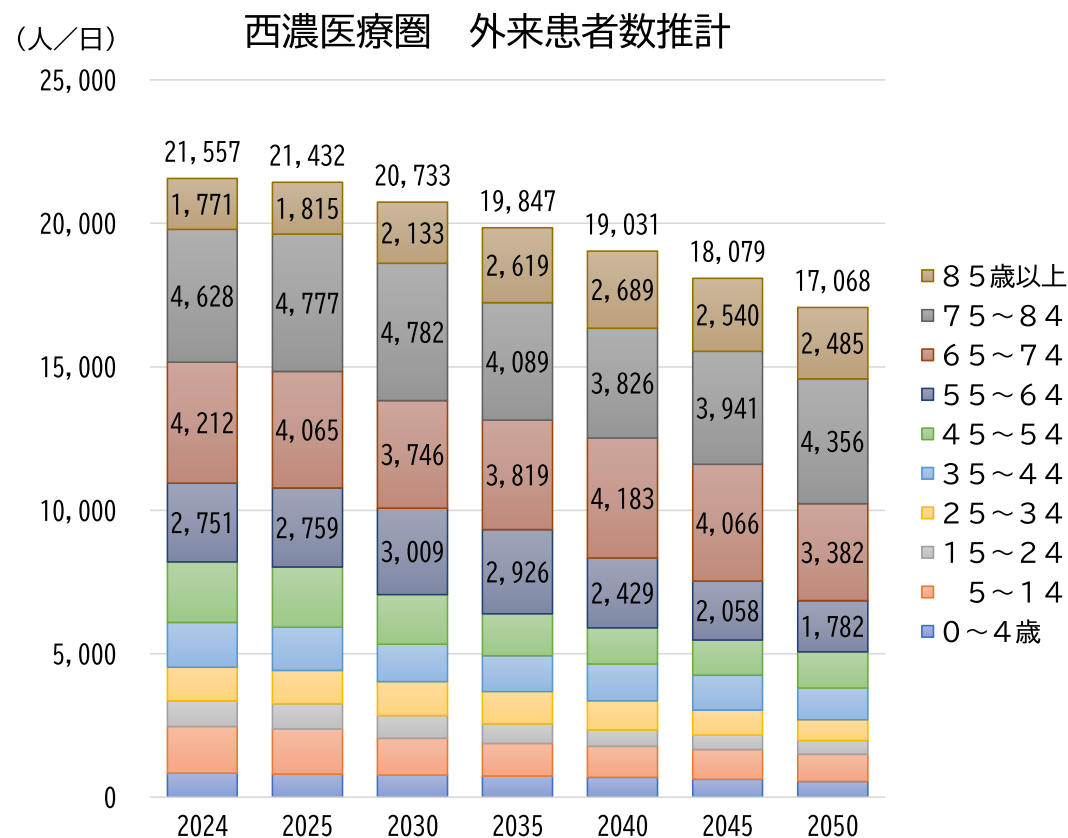
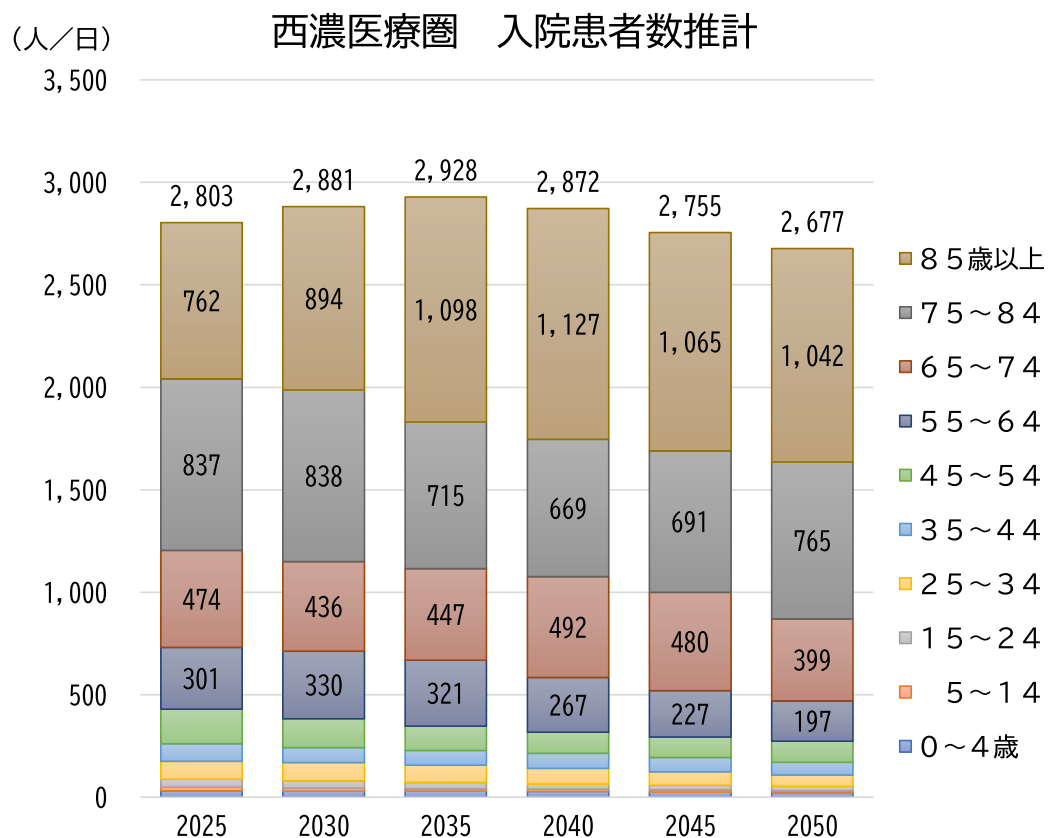
大垣市の人口推計

大垣市は、2025年の推計値で、15.5万人の人口が、2040年には14.1万人、2050年には13.0万人と、人口減少が推計されている。患者数が増加する65歳以上に限定すれば、75歳～79歳、80歳～84歳の区分では、2030年以降大きく減少すると見込まれる。85歳以上の各区分の人口が増加すると見込まれている。



西濃医療圏の患者数推計

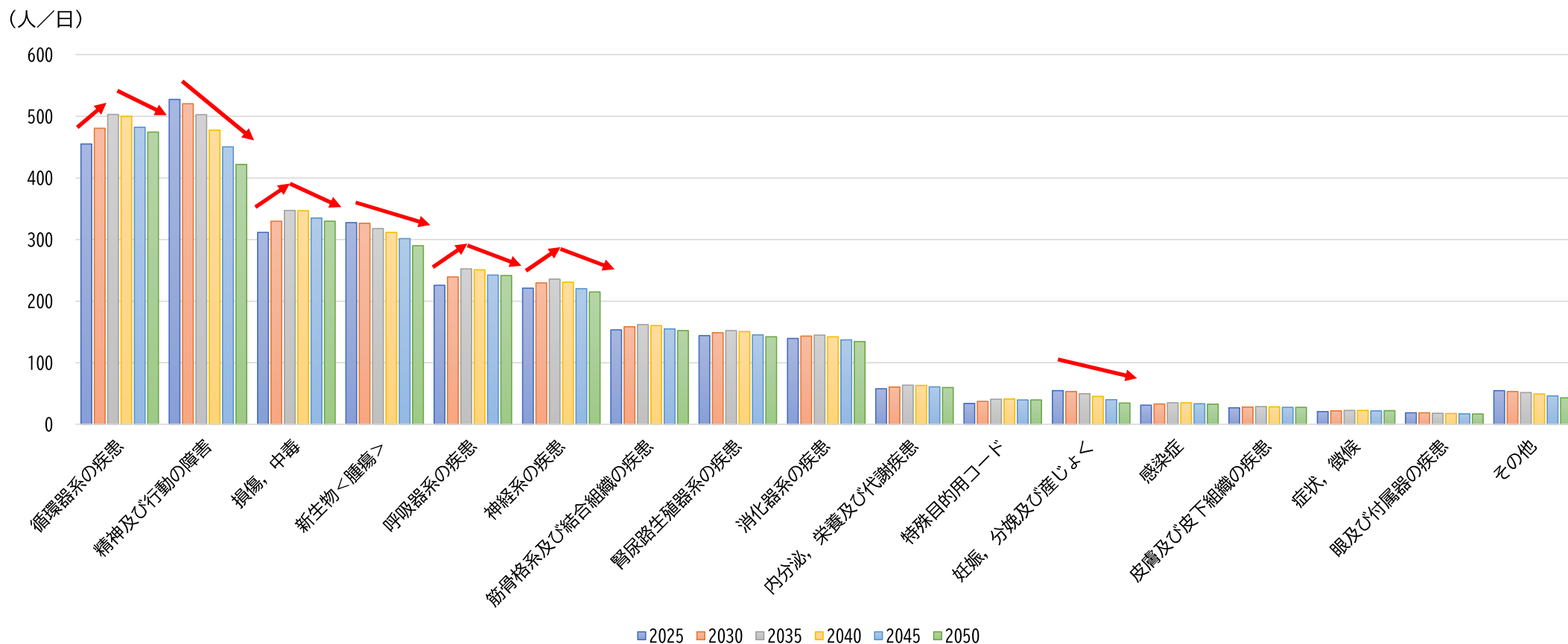
入院患者数は2035年に向けて増加すると推計されるものの、増加するのは85歳以上の年齢区分であり、84歳以下は減少し続ける。高齢者に対応する医療機能のニーズが高まる一方、若年層に求められる医療ニーズは減少する。外来患者数は右肩下がりで減少していくと推計される。



出所：国立社会保障・人口問題研究所に、令和5年度患者調査の男女別年齢区分別受療率を掛け合わせて求めた

西濃医療圏の入院患者数推計（疾患別）

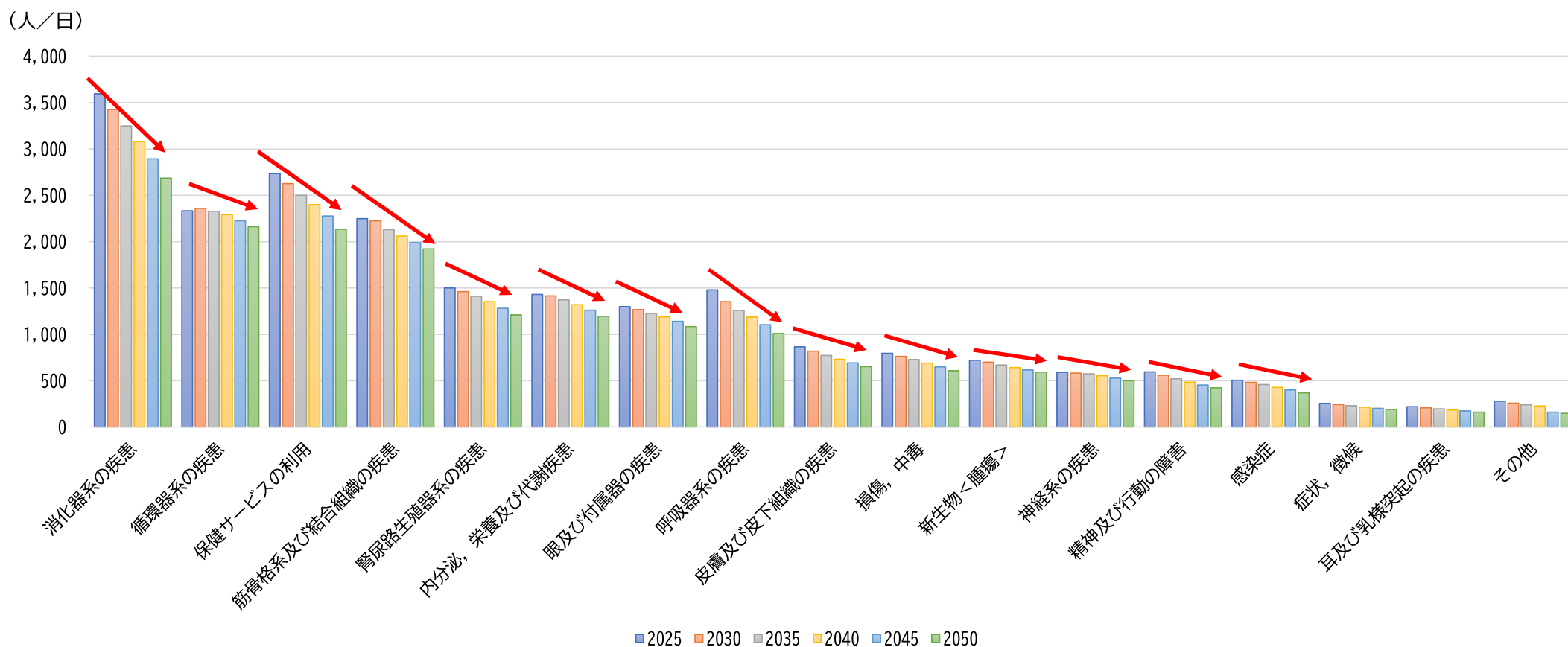
疾患別には、循環器の疾患や、大腿骨頸部骨折を主とした損傷、呼吸器系の疾患等が2035年まで増加するがその後減少に転じる。精神疾患や新生物、妊娠関連といった若年層にも多い疾患は減少していく。



出所：国立社会保障・人口問題研究所に、令和5年度患者調査の男女別年齢区分別受療率を掛け合わせて求めた

西濃医療圏 外来患者数推計（疾患別）

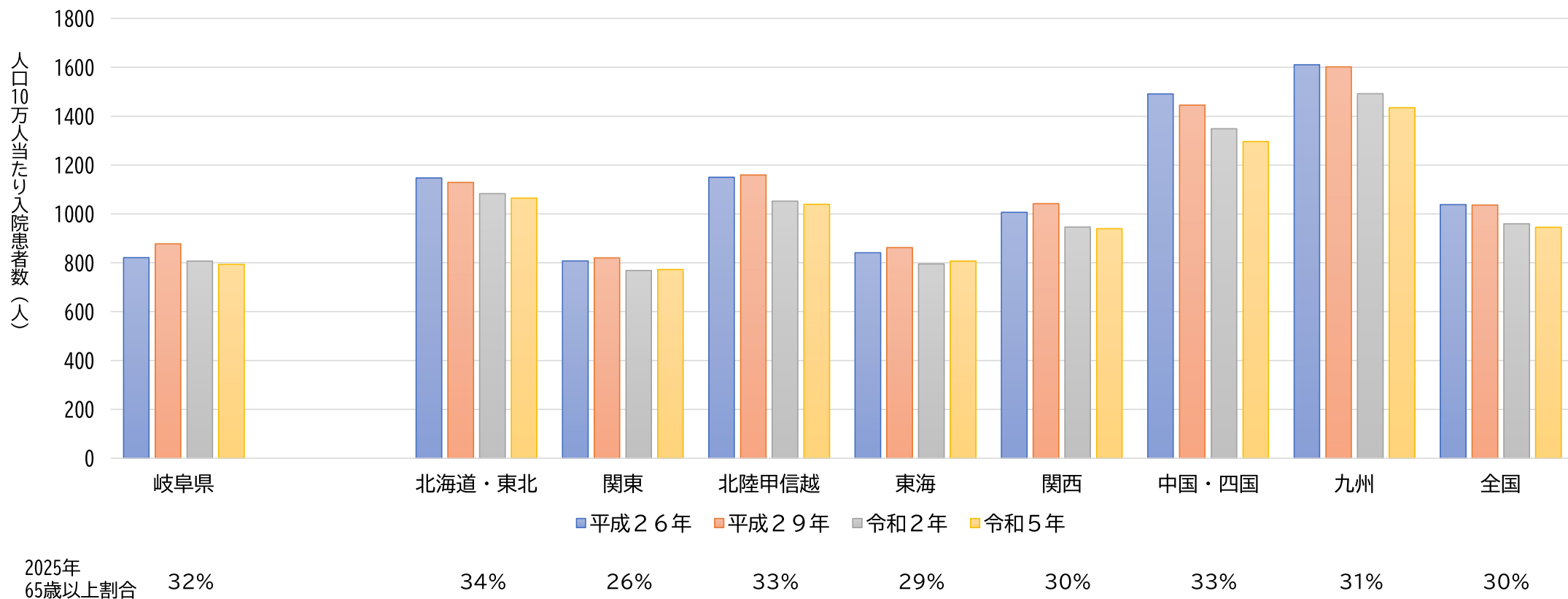
外来はどの疾患においても減少していく。人口減少の影響が強い。



出所：国立社会保障・人口問題研究所に、令和5年度患者調査の男女別年齢区分別受療率を掛け合わせて求めた

岐阜県及び全国における入院受療率の推移（平成26年度～令和5年度）

平成26年以降の入院受療率は、高齢化率の高い地域を中心に減少傾向にある。令和2年度のコロナ禍が一時的な特異事象であったわけではなく、令和5年においても減少している地域が多い。岐阜県においても、高齢者数の増加が必ずしも受療率の上昇につながるとは限らない。受療率を元にした患者数推計は、推計値を下回る可能性がある。



出所：厚生労働省 患者調査 入院受療率

大垣市における在宅医療・介護連携の取り組み（令和7年度）

1 目的

医療と介護サービスをともに必要とする状態となった高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所の連携を推進する。

2 主な事業内容

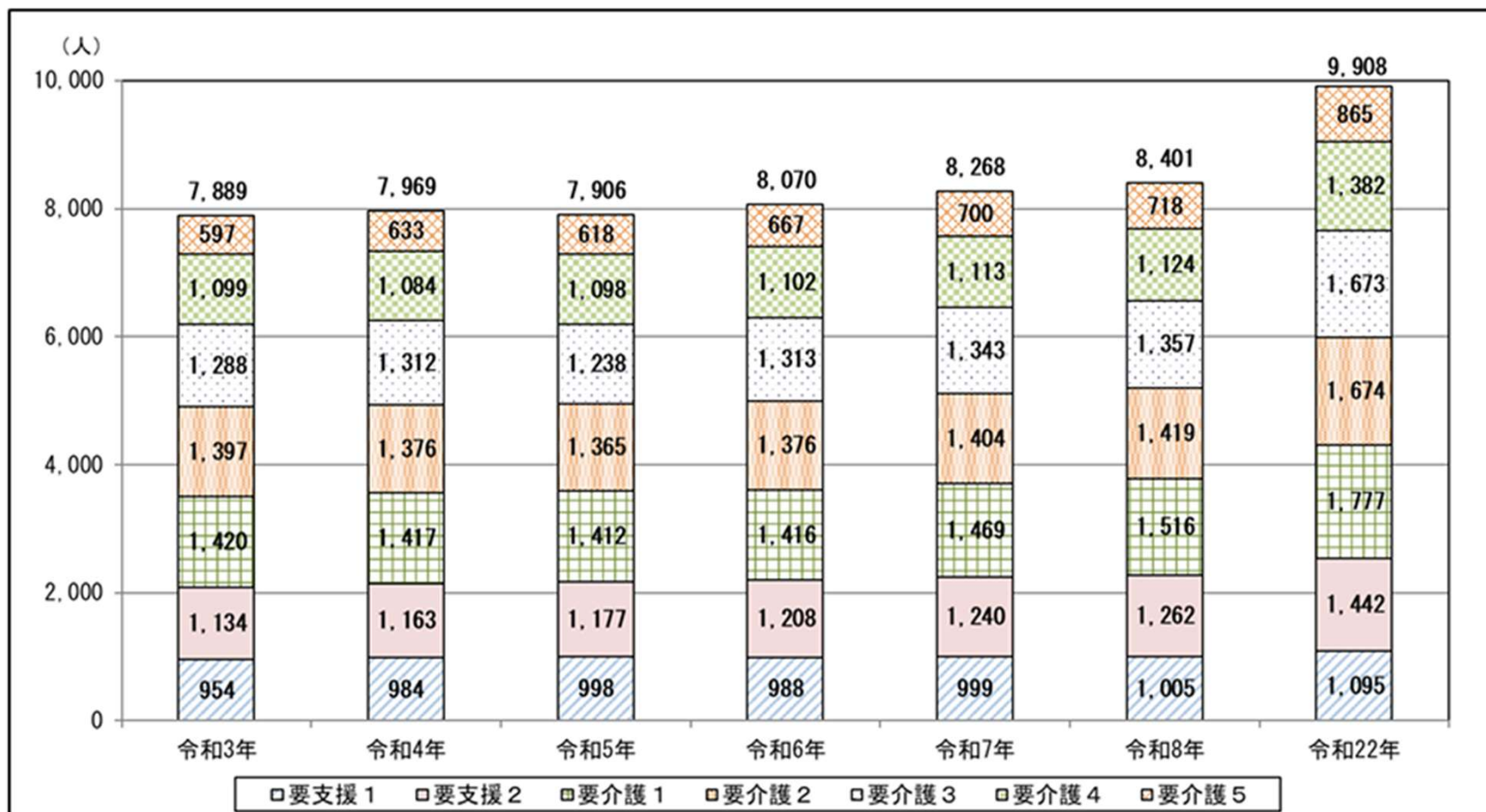
大垣市医師会や大垣歯科医師会に業務委託するほか、関係機関と連携を図りながら、各種事業を実施。

在宅医療・介護連携推進会議の代表者会議を軸として、多職種連携普及啓発部会・人生会議部会・ICT部会を設置し、きめ細かな事業実施に取り組んでいる。

- ① 在宅医療・介護連携推進コーディネーターの設置
- ② 地域の医療・介護資源の把握(在宅医療マップの作成ほか)
- ③ 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
- ④ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- ⑤ 医療・介護関係者の情報共有の支援(芭蕉@在宅ネットの活用ほか)
- ⑥ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- ⑦ 医療・介護関係者の研修(多職種研修会の開催ほか)
- ⑧ 地域住民への普及啓発

大垣市における要介護・要支援認定者の推計

2023年(令和5年)の要介護・要支援認定者数は7,906人となっており、要支援1・2の認定者数が増加している。2040年(令和22年)には要介護・要支援認定者は9,908人まで増加すると見込まれている。



西濃医療圏の医療機関の状況

西濃医療圏における医療機関の状況

西濃医療圏は大垣市民病院が最も規模が大きく、急性期を中心とした医療を担っている。西濃厚生病院、大垣徳洲会病院は、急性期を中心としながらも、回復期・慢性期を担っている。他の病院は、回復期・慢性期を中心とした医療機能を提供している。

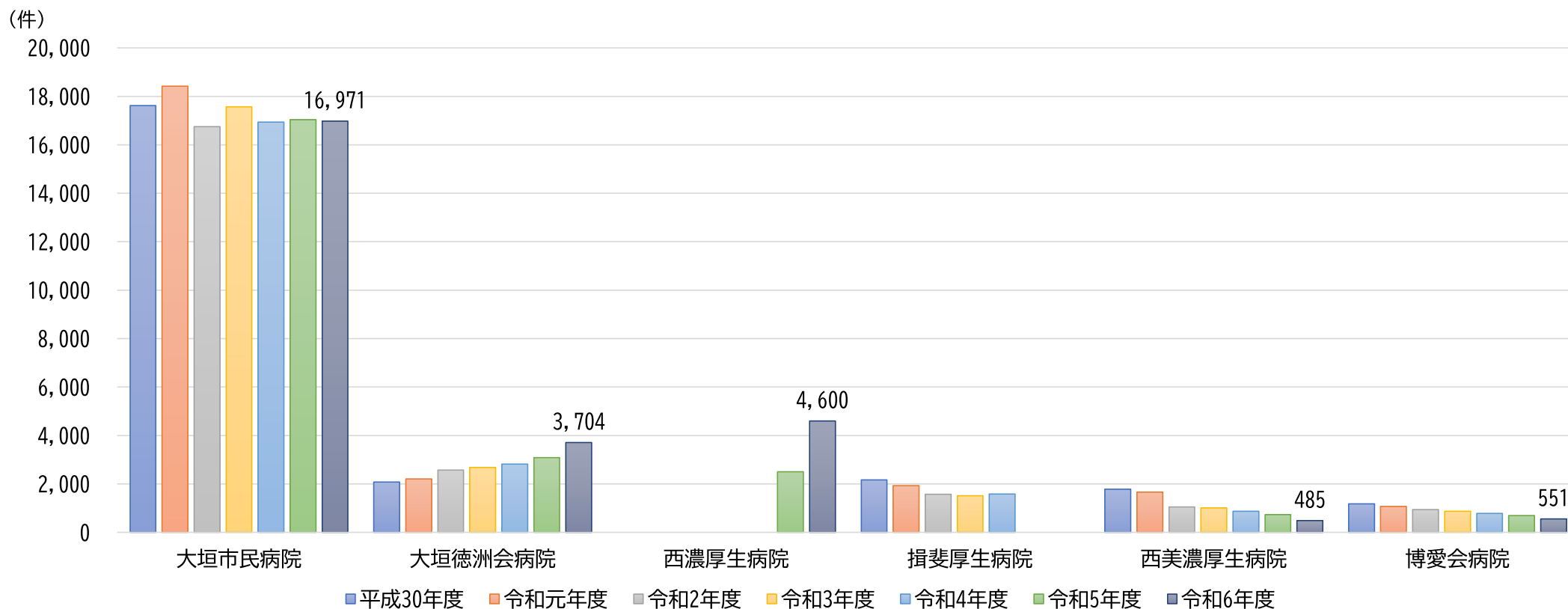


主な医療機関	機能別病床数					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床等	計
大垣市民病院	290	451			30	771
西濃厚生病院 (※)		293	107			400
大垣徳洲会病院	40	141	51	51		283
博愛会病院		50	91	93		234
西美濃厚生病院			95	35		130
名和病院			33	73		106
新生病院		25	26	45		96
大垣中央病院			60			60
海津市医師会病院		49	50			99
馬淵病院				52		52
大垣病院				41		41
西濃医療圏 合計 (A)	330	1,123	558	412	67	2,490
地域医療構想における必要病床数 (西濃圏域) (B)	253	917	744	516		2,430
(A) - (B)		283	▲290		67	60

※西濃厚生病院は、令和5年10月に揖斐厚生病院と西美濃厚生病院が再編統合して開院した病院である。

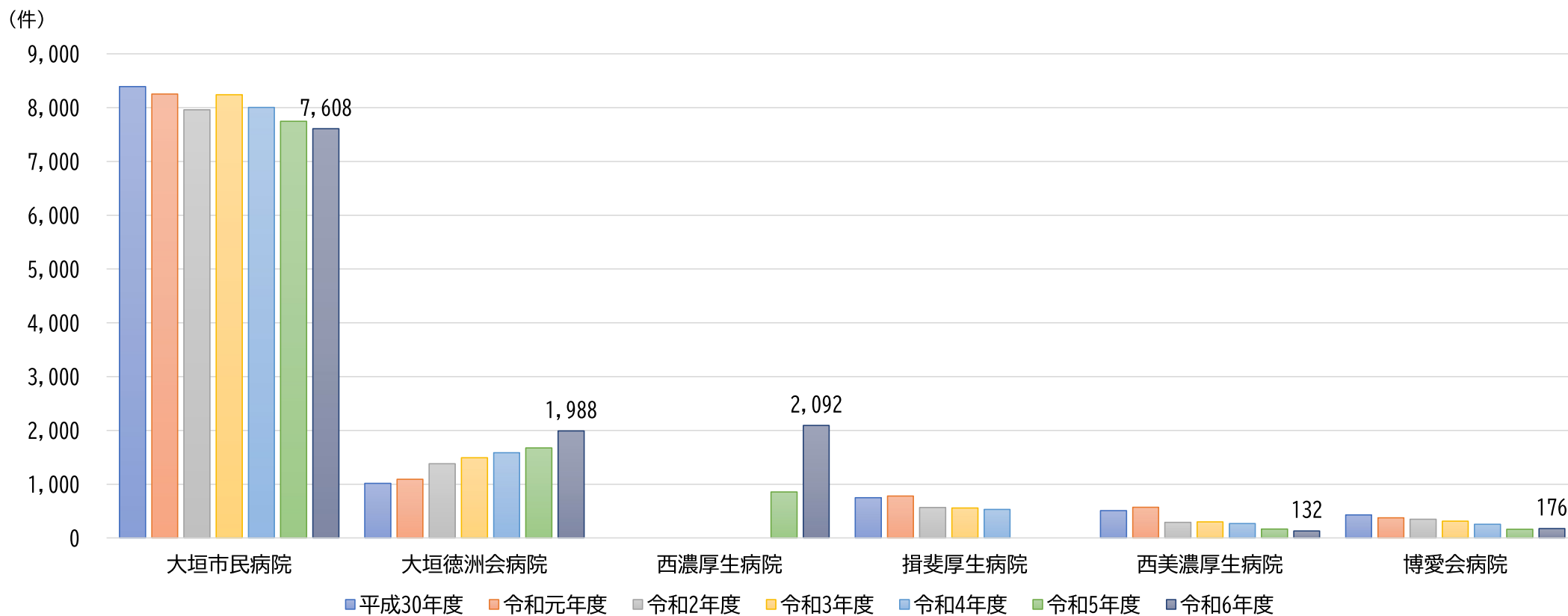
西濃医療圏における退院患者数の推移（平成30年度～令和6年度）

令和2年の新型コロナウイルス感染拡大時には、大垣市民病院の退院患者数は減少していたものの、その後緩やかに回復している。大垣徳洲会病院、西濃厚生病院の患者数は増加傾向にある。他の医療機関は減少傾向にある。



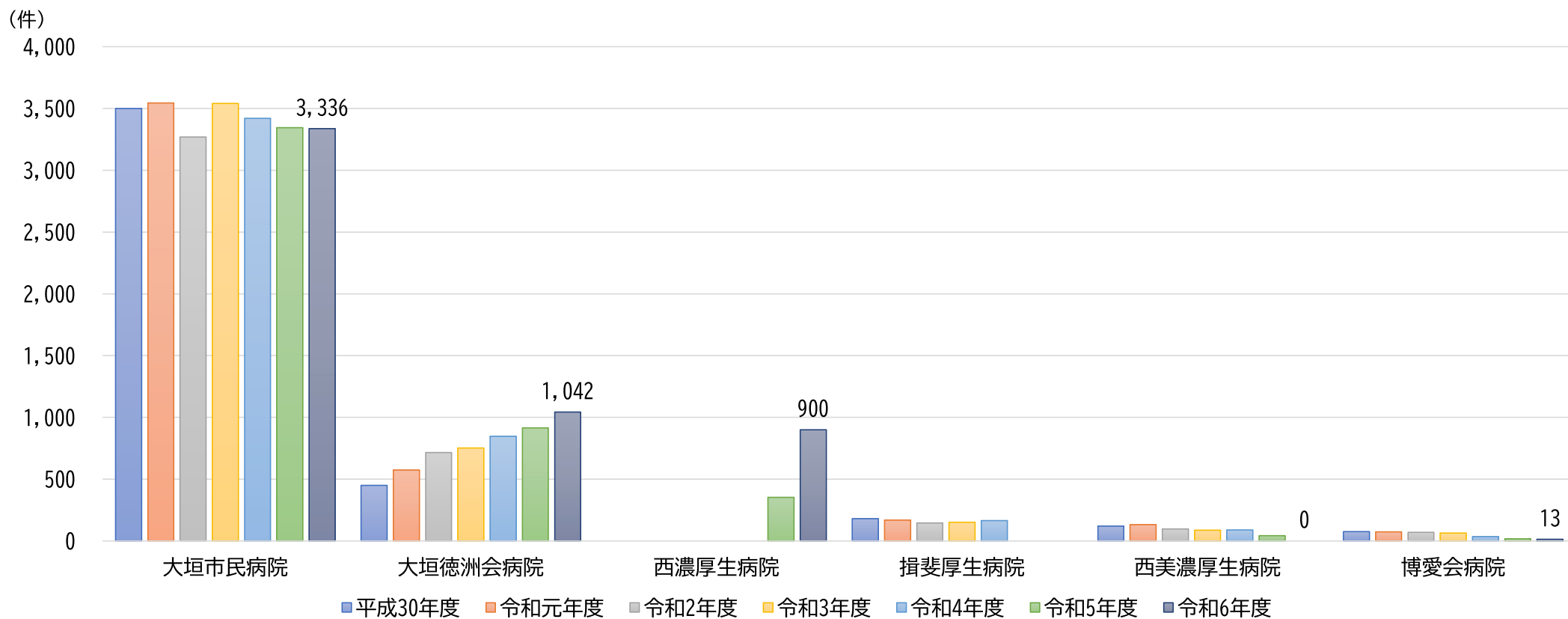
西濃医療圏における退院患者数（手術あり）の推移（平成30年度～令和6年度）

手術患者は、大垣徳洲会病院、西濃厚生病院を除き、減少傾向にある。



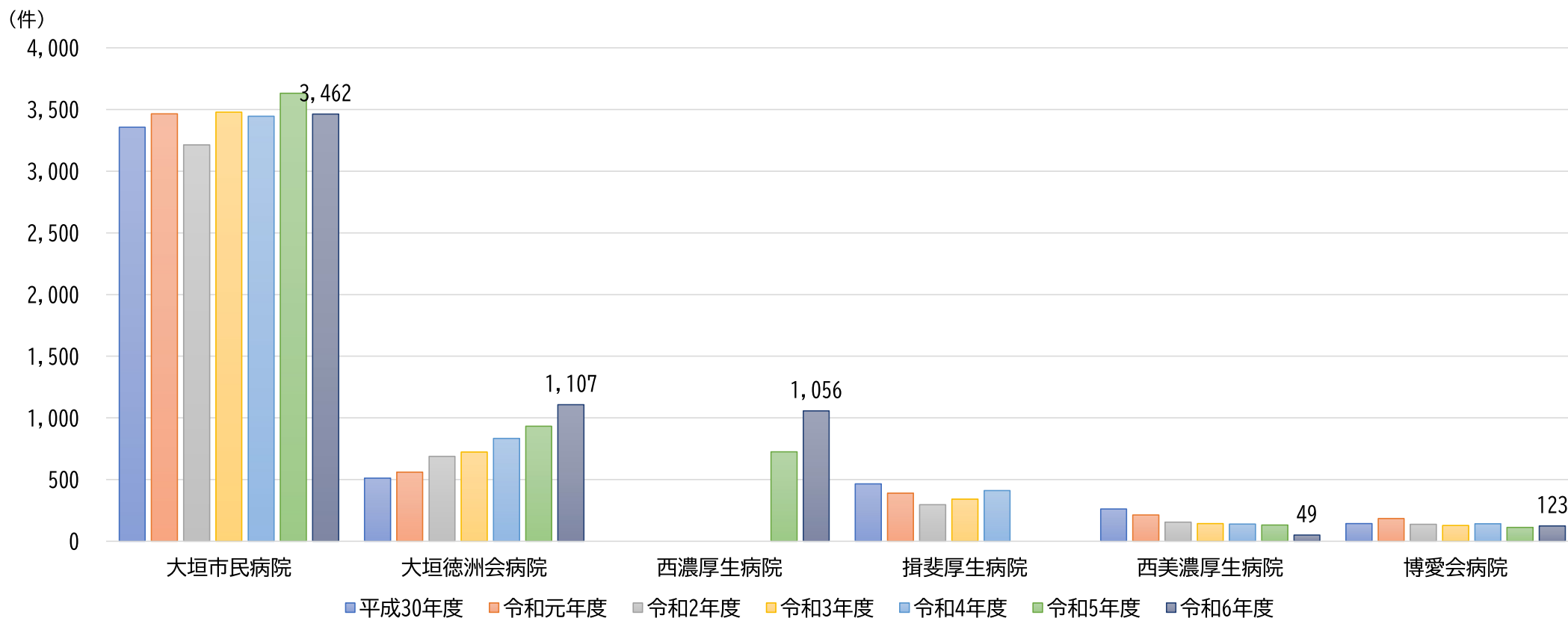
西濃医療圏における退院患者数（全身麻酔）の推移（平成30年度～令和6年度）

全身麻酔件数においても、大垣徳洲会病院、西濃厚生病院は増加傾向にあり、他の病院は減少傾向にある。



西濃医療圏における救急搬送入院の推移（平成30年度～令和6年度）

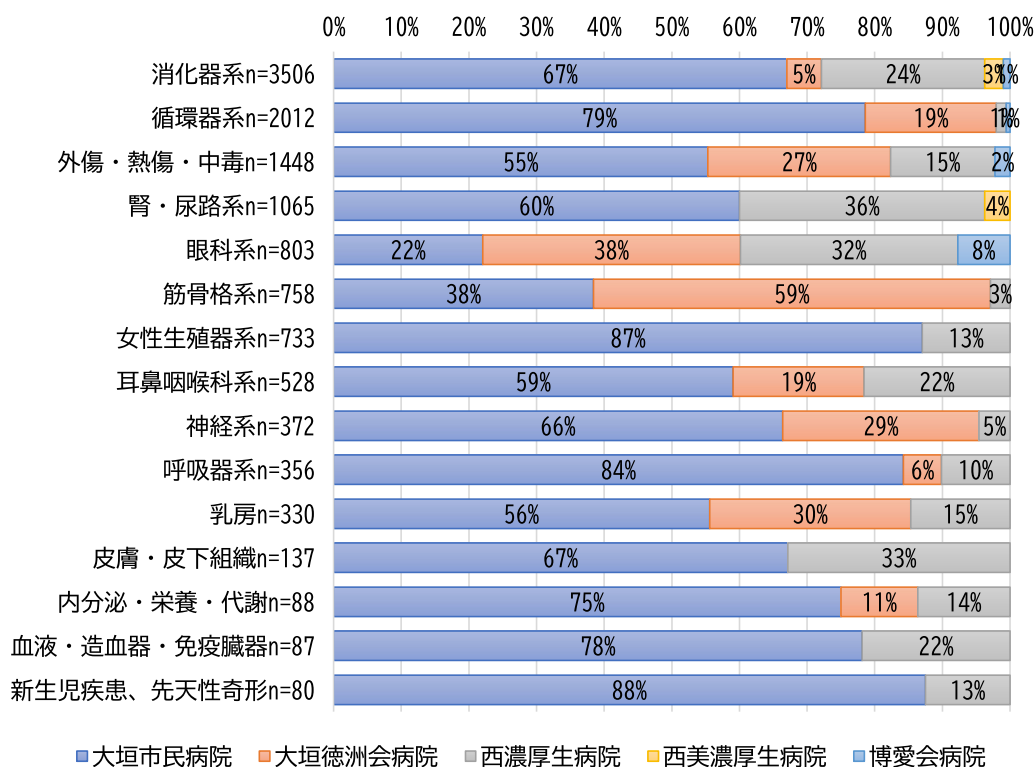
救急搬送件数は、令和2年度以降、増加傾向にある病院が多い。



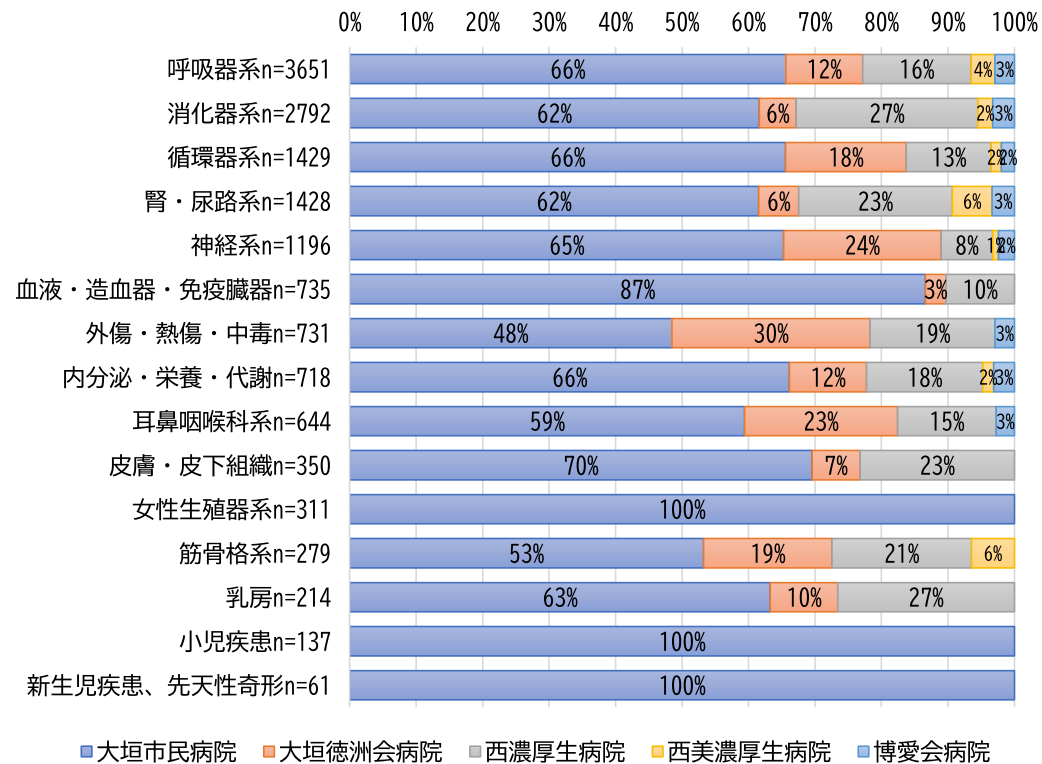
西濃医療圏における診断群分類別患者数の割合（令和6年度）

ほとんどの診断群分類で、大垣市民病院が過半数の症例数を担っている。眼科、筋骨格系の手術ありは、大垣徳洲会が高いシェアを担っている。

手術あり

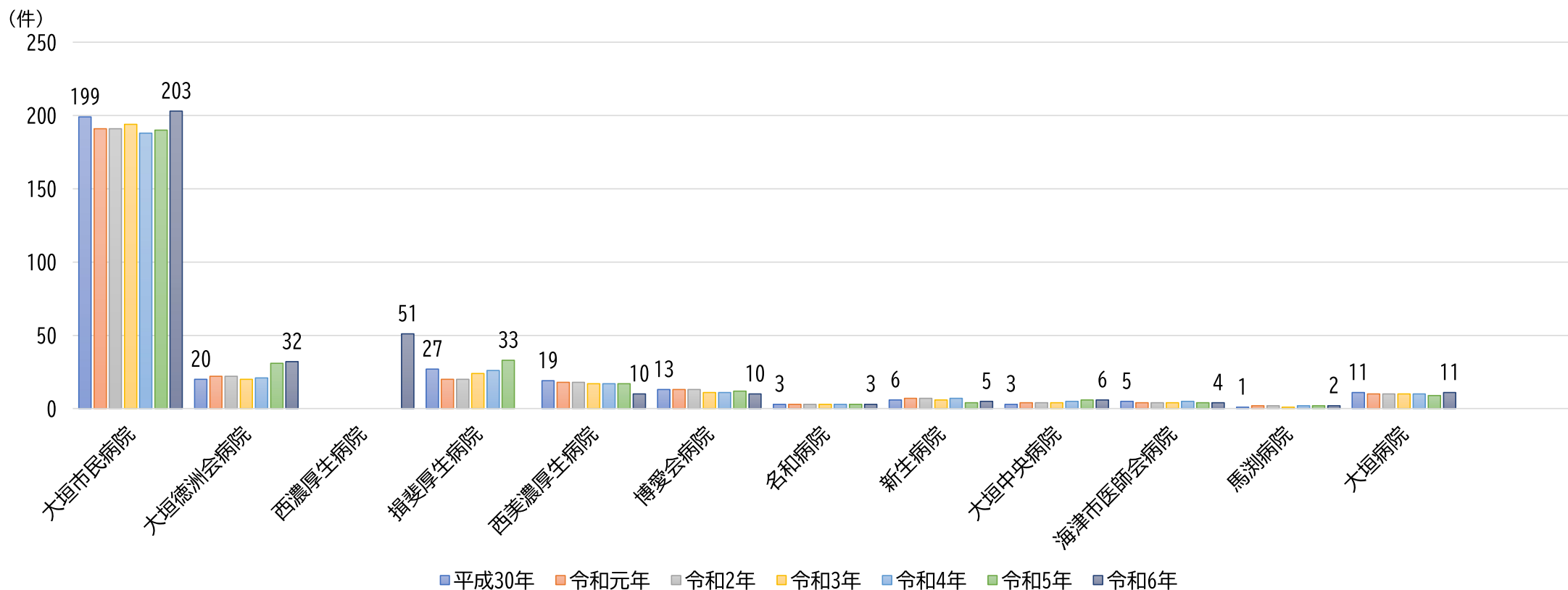


手術なし



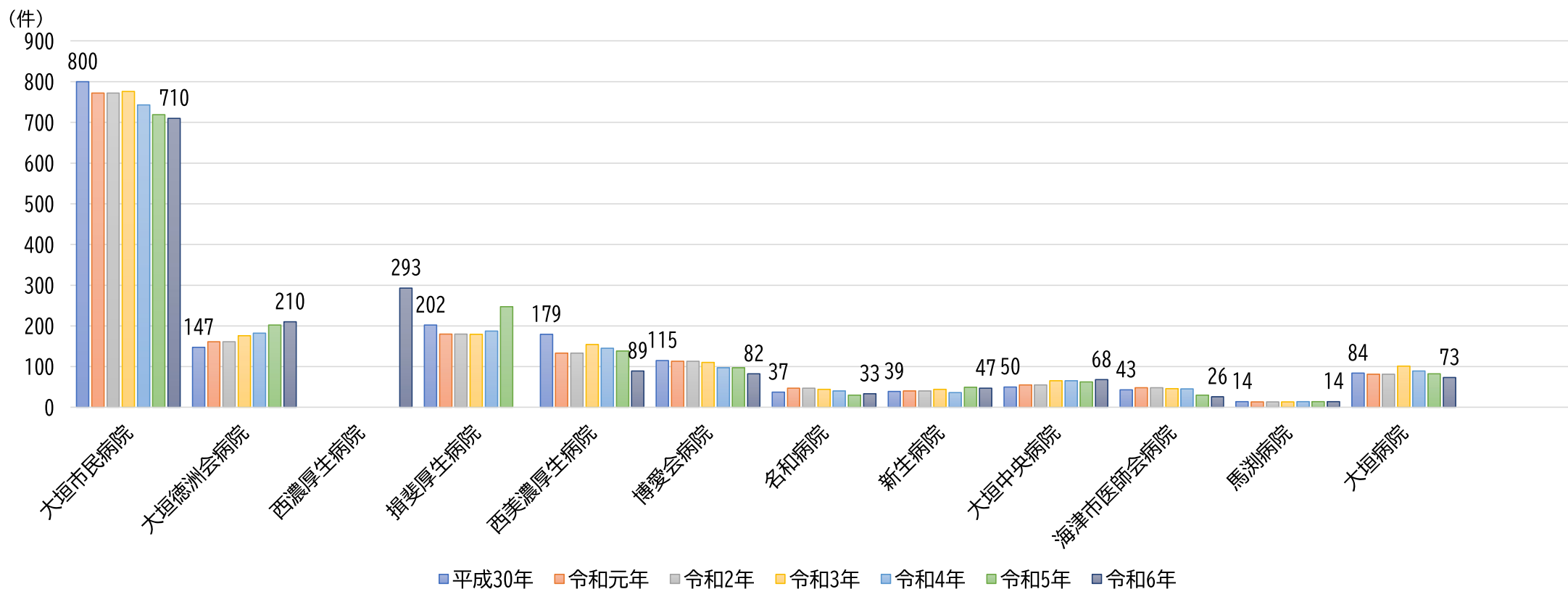
西濃医療圏における常勤医師数の推移（平成30年度～令和6年度）

大垣市民病院は、近年医師数を減らしていたが、令和6年度に増加している。



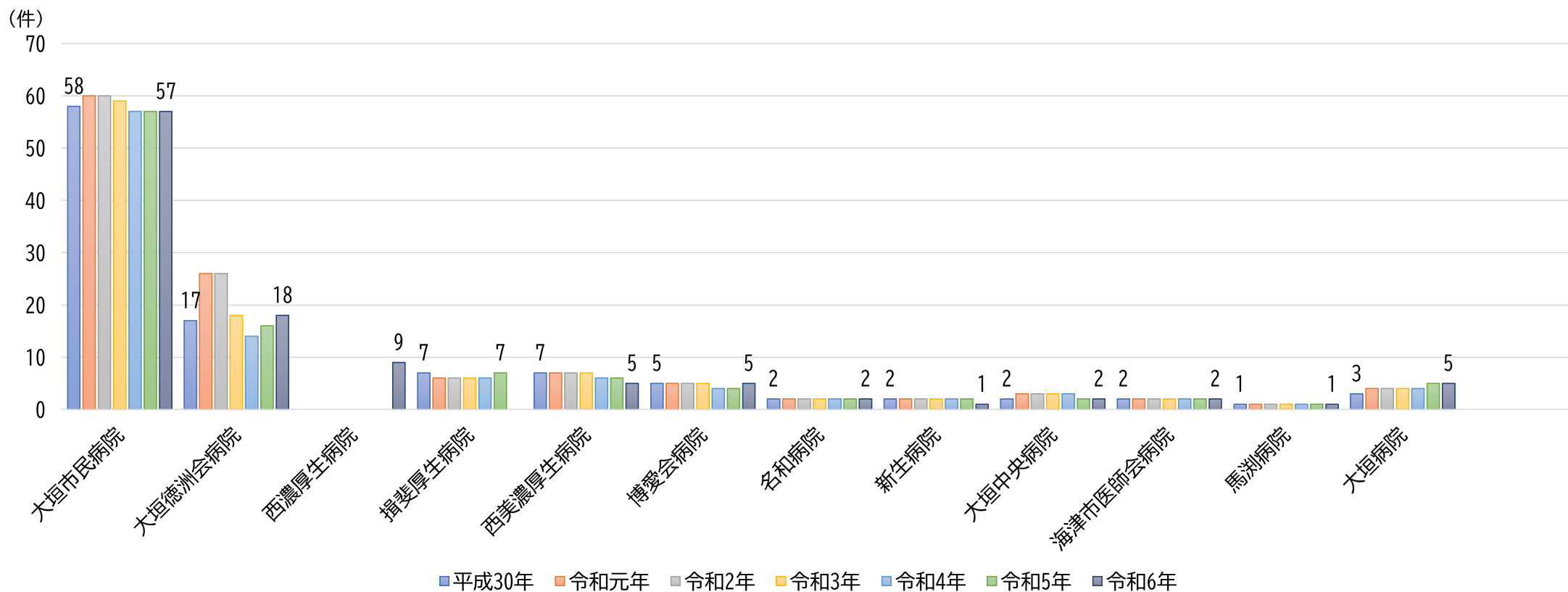
西濃医療圏における常勤看護師・准看護師・助産師数の推移（平成30年度～令和6年度）

大垣市民病院など看護師が減少している病院があり、地域全体で看護師の確保が重要である。



西濃医療圏における常勤薬剤師数の推移（平成30年度～令和6年度）

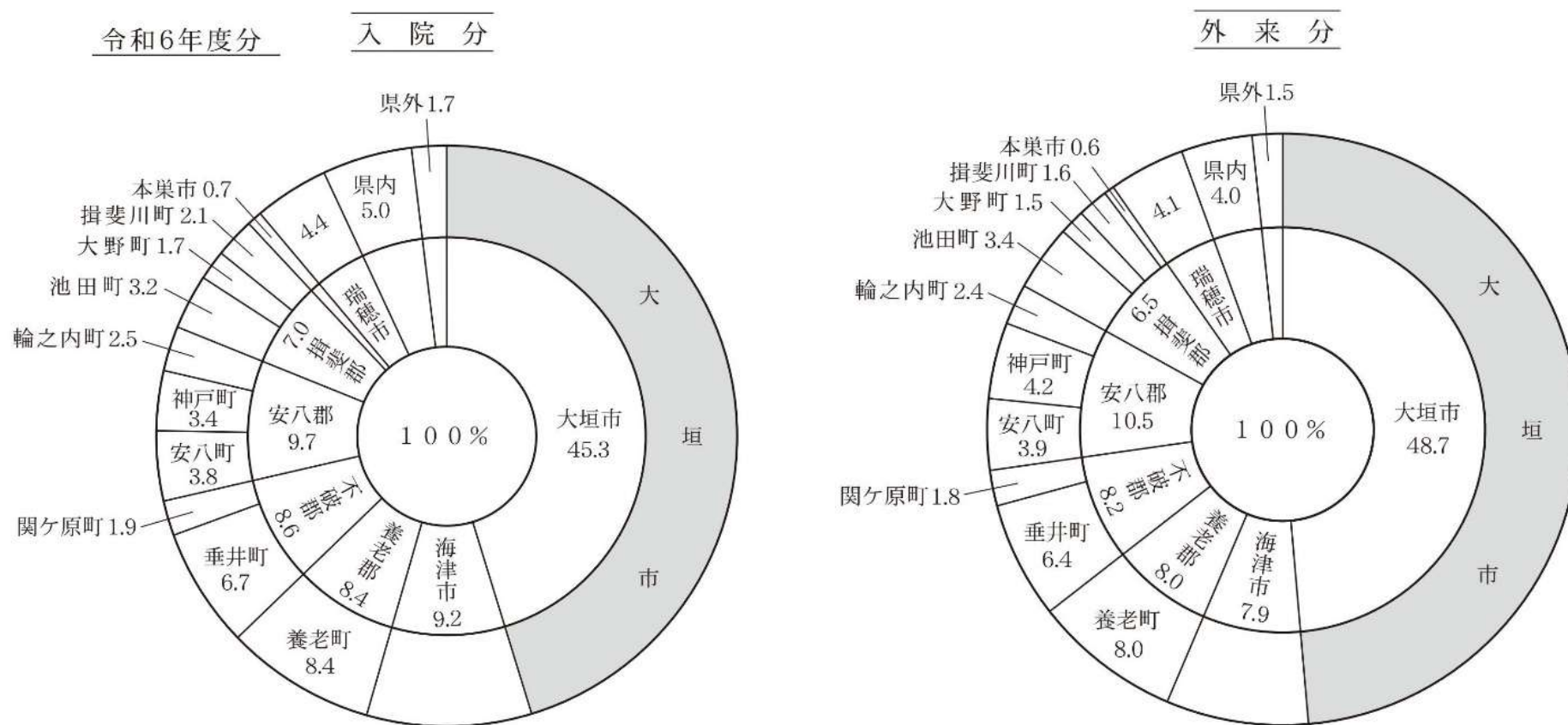
調剤薬局やドラッグストアなど、薬剤師の働き先は様々な選択肢があるため、薬剤師の確保が課題になるケースは多い。



大垣市民病院の状況

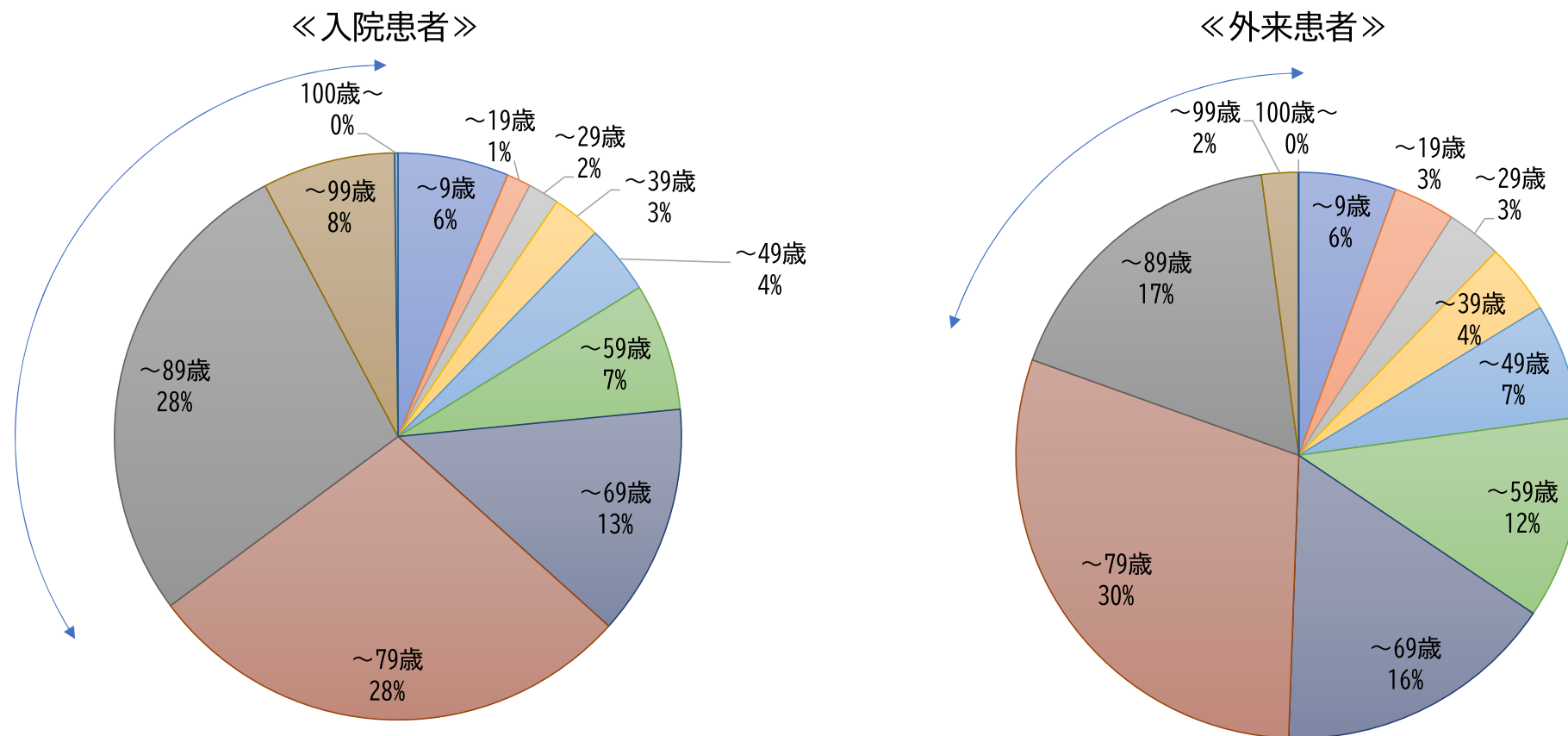
大垣市民病院の患者住所地別割合（令和6年度）

入院、外来ともに50%以上が大垣市外の患者であり、広域の患者に医療を提供している。



大垣市民病院の患者の年齢割合（令和6年度）

入院患者の36%が80歳以上、外来患者の約20%が80歳以上となっている。高齢者の割合は今後も増えていくと想定できる。



大垣市民病院の棟別築年数（令和8年5月時点）

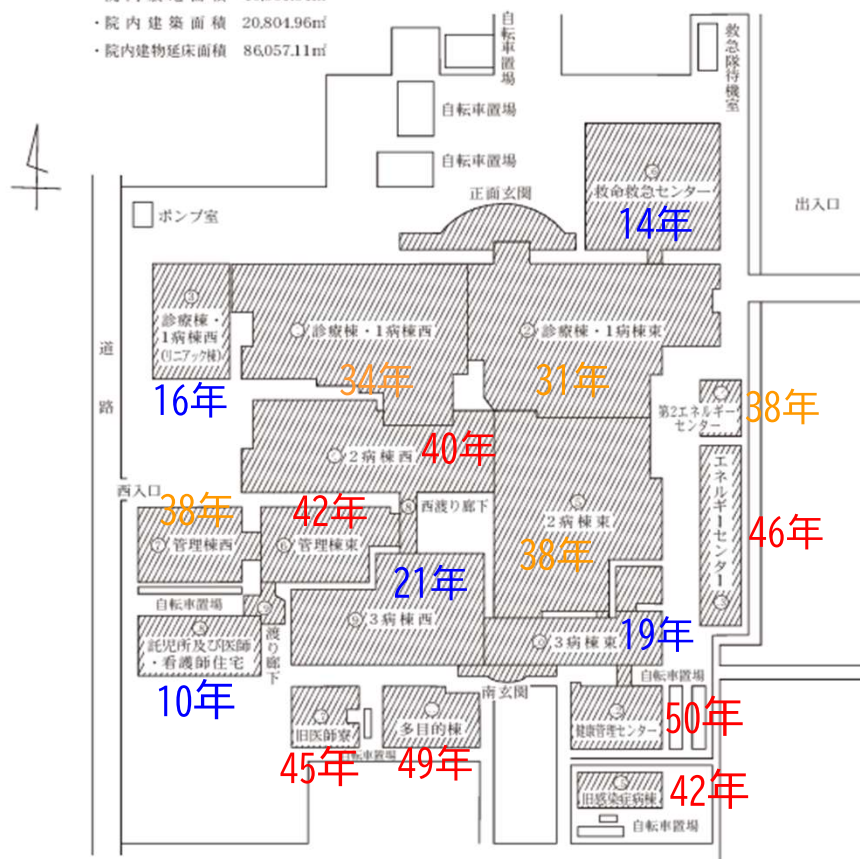
大垣市民病院の老朽化が進んでいる。中央手術室を含む2病棟は築38年となっているなど、建て替えの必要性が迫っている。

建 物 概 要

(見取図)

- ・院内敷地面積 40,561.84㎡
- ・院内建築面積 20,804.96㎡
- ・院内建物延床面積 86,057.11㎡

令和7年5月現在



院内の建物（構造及び用途）

番号	建 物	完成年月日	建物の構造概要	用 途	延床面積㎡
・診療施設 延床面積 79,247.56㎡					
1	診療棟・1病棟 西	II 4.3.30	鉄骨鉄筋コンクリート造	外来診療室、処置室、調剤室、X線室、MRI室、検査室、受付、会計、患者待合、病室、看護師室、分娩室、沐浴室、当直室、放射線治療室 他	24,483.52
2	診療棟・1病棟 東	II 6.8.31	(一部鉄筋コンクリート造)		
3	診療棟・1病棟 (リニアック棟) 西	II 22.3.12	地下1階、地上6階建		
4	2 病 棟 西	S 61.1.31	鉄骨鉄筋コンクリート造 9階建	事務室、中央手術室、中央材料室、検査室、X線室、医療工学センター、病室、看護師室、処置室 他	18,583.01
5	2 病 棟 東	S 63.1.31			
6	管理棟 東	S 59.2.29	鉄筋コンクリート造 6階建	研究室、会議室、講堂、部長室 他	3,019.87
7	管理棟 西	S 63.1.31	* 5階建	リネン室、図書室、透析センター 他	2,787.92
8	西 渡 り 廊 下	S 44.9.30	* 3階建	遺伝子検査室、研究室 他	299.67
9	3 病 棟 西	II 16.8.31	鉄骨鉄筋コンクリート造 10階建	病室、看護師室、処置室、職員食堂、通院治療センター、ガンマカメラ室 他	19,989.13
10	3 病 棟 東	II 19.3.23			
11	多 目 的 棟	S 51.7.29	鉄筋コンクリート造 3階建	物流センター、事務室 他	1,519.59
12	健康管理センター	S 50.7.20	* 2階建	健康管理センター、PETCT室	968.68
13	エネルギーセンター	S 54.7.31	* 4階建	ボイラー室、冷凍機室、防災備蓄センター 保安監視室、受変電室、自家発電機室 他	1,689.26
14	第2エネルギーセンター	S 63.1.31	* 3階建	冷凍機室、医療ガス機器室 他	629.30
15	旧感染症病棟	S 59.3.31	* 2階建	空室	673.80
16	救命救急センター 付 属 建 物	II 24.1.1	鉄筋コンクリート造 3階建	外来、病棟、当直室、会議室、救急降付機室(別棟) 他	4,033.39
	*	II 27.8.27	鉄 骨 造 平 家 建	自転車置場、ポンプ室 他	378.43
	*	II 29.7.31	鉄 骨 造 平 家 建	自転車置場 (健康管理センター東側)	114.24

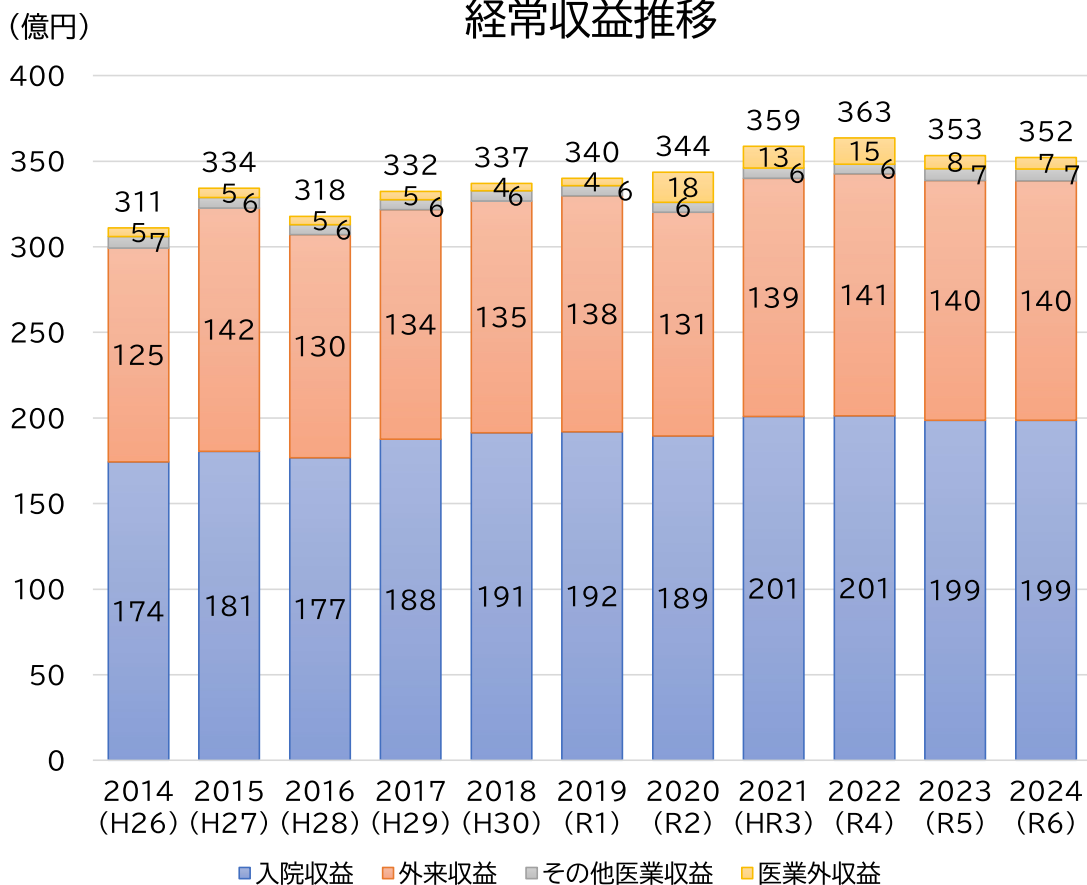
番号	建 物	完成年月日	建物の構造概要	用 途	延床面積㎡
・医師、看護師寮 延床面積 6,809.55㎡					
17	旧 医 師 寮	S 56.2.22	鉄筋コンクリート造 4階建	仮眠室	1,473.67
18	託児所及び医師・看護師住宅	II 27.8.27	鉄筋コンクリート造 8階建	託児所、医師住宅、看護師住宅 他	5,276.87
19	渡 り 廊 下	II 27.8.27	鉄 骨 平 家 建	渡り廊下	59.01

※ 築年数は令和8年5月時点 月数切り捨て

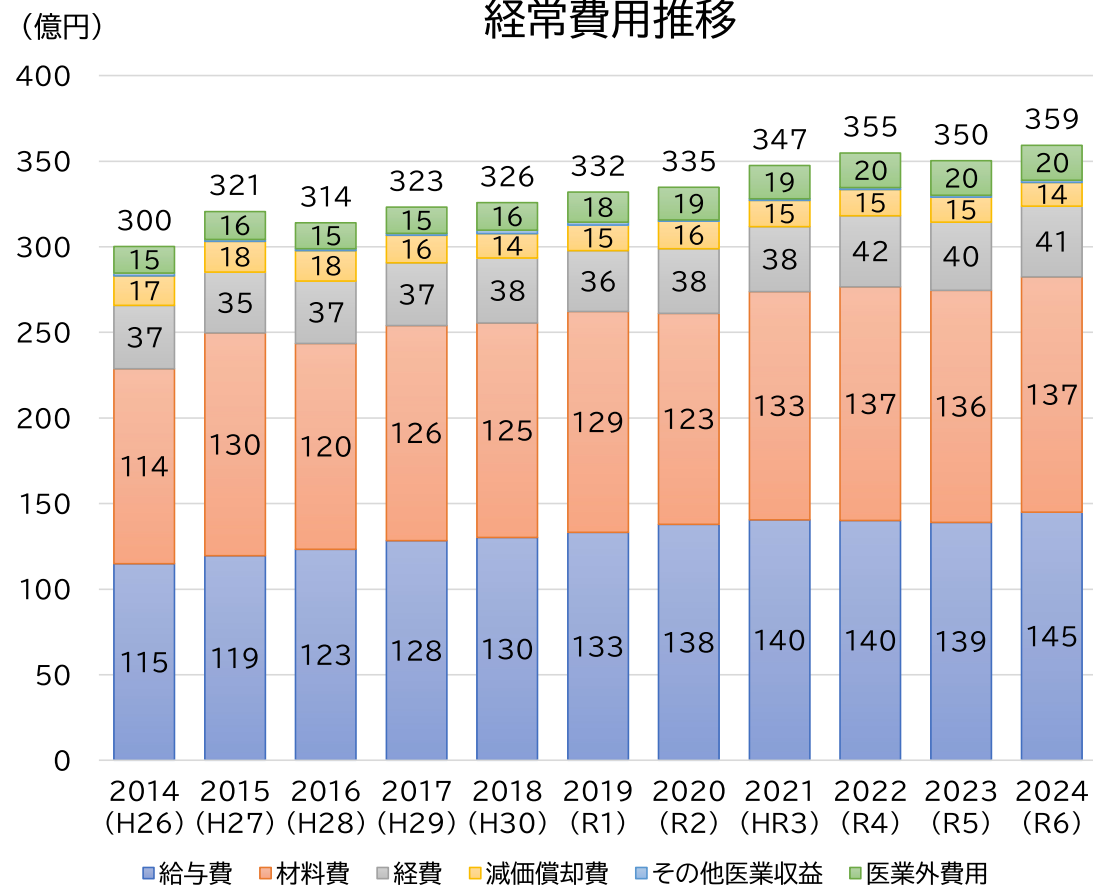
大垣市民病院の経常収益・経常費用推移（平成26年度～令和6年度）

経常収益は、2021年まで増加を続けていたが、そこからは入院、外来収益ともに横ばいとなっている。一方、費用は給与費を中心に増加傾向となっており、2024年には過去最高の費用となった。

経常収益推移



経常費用推移



議題

将来にわたって持続可能な地域医療・介護の提供体制を確保する視点で、下記についてご意見ををお願いします。

- ① 大垣市及び西濃医療圏の地域医療の現状と課題について
- ② 大垣市及び西濃医療圏の介護の現状と課題について
- ③ 大垣市民病院を含む医療機関の役割と課題について
- ④ その他